

季刊
地域と農政を結ぶ

平成28年5月



茶草場農法（世界農業遺産）を行っている掛川市東山地区の新茶風景

米をめぐる状況について - 28年産飼料用米の推進 -

農林水産省HPの「逆引き事典」をリニューアル!

- ・新地方参事官ごあいさつ 1
- ・平成28年度地域班担当総括農政推進官の紹介 1
- ・平成27年漁業・養殖業生産統計結果(静岡県の概要)... 11
- ・静岡県農業の統計指標 (1) 総括 13
- (2) 主要品目別データ 14

関東農政局静岡支局地方参事官室

農林水産省

－ 新地方参事官ごあいさつ －

静岡県の農林水産業に関わる関係機関の皆様方には、日頃より農林水産行政の推進及び当支局業務へご支援、ご協力を賜っていますことに改めて御礼申し上げます。この4月より静岡支局の地方参事官（支局長）を拝命しました。

就任以降、各行政機関やＪＡ等にお伺いさせていただいているところであり、面談していただいた関係機関の皆様方からは、地域農業の特徴や現状、課題の一端についてお聞きすることができました。

引き続き、各地域担当の総括農政推進官等とともに足を運び、情報提供や施策相談、農政に係る意見や要望を伺い、制度の改善につなげていくことで、静岡県の農林水産業の発展に貢献できるよう支局全体で取り組んでまいりたいと考えています。

農業、農村を取り巻く環境の変化に対応し、課題を克服しようと努力を続ける皆様方にとって、我々の「地域と農政をつなぐ役割」は今後一層必要にされていくものと思っています。昨年10月に発足した支局が、より身近で信頼、相談していただける組織となるよう頑張ってまいりますので、よろしくお願いいたします。



平成28年5月

関東農政局 静岡支局

地方参事官（支局長） ごうや 舎屋 英之

－ 平成28年度地域担当総括農政推進官の紹介 －



西部地域担当
滝 紀世武



企画・中部地域担当
伊部 功史郎



東部地域担当
杉本 和人

米をめぐる状況について - 28年産飼料用米の推進 -

○ 27年産米の状況

27年産米の作付実績

- ・平成27年産については、主食用米から飼料用米、麦・大豆、WCS（稲発酵粗飼料）等への転換が進み、前年比で+6.2万ha転換。
- ・この結果、27年産米の主食用米の作付面積は140.6万haとなり、生産数量目標141.9万haを1.3万ha下回り、超過作付は生産数量目標の配分を開始して以来初めて解消された。

○主食用米及び戦略作物の作付面積

		主食用米			戦略作物等(基幹作物のみ)				
		作付面積 ①	生産数量目標 ②	超過作付 ①-②	飼料用米	WCS	麦	大豆	その他
26年産	(万ha)	147.4	144.6	2.8	3.4	3.1	9.8	8.0	19.8
27年産	(万ha)	140.6	141.9	▲ 1.3	8.0	3.8	9.9	8.7	19.8
差 (27-26)	(万ha)	▲ 6.8	▲ 2.7	▲ 4.1	4.6	0.8	0.2	0.6	▲ 0.0

超過作付が初めて解消
(平成6年産から生産数量
目標を配分して以降初)

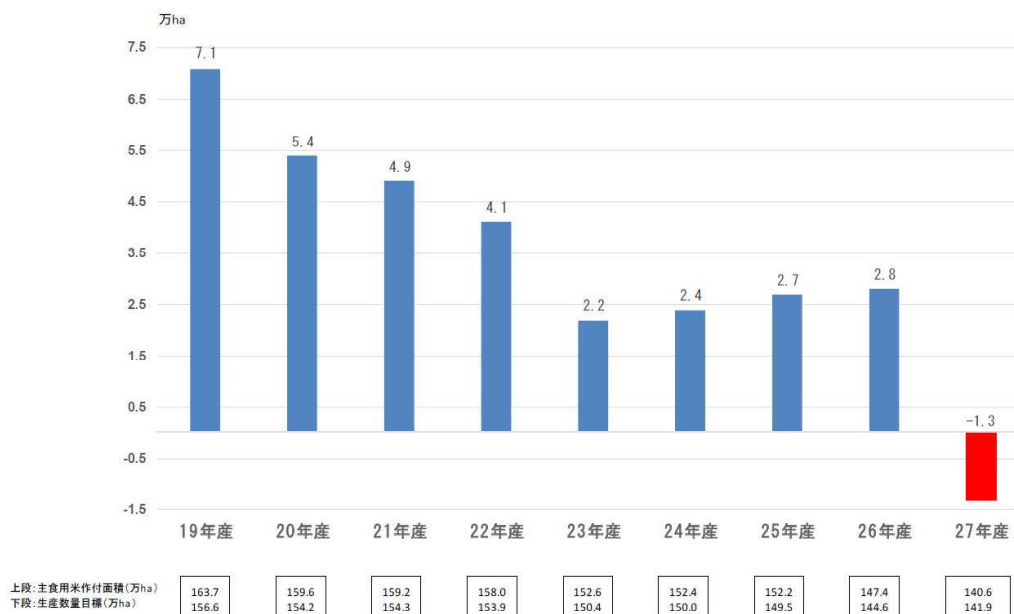
前年比6.2万ha増

平成27年産飼料用米:生産量42万トン

注1: ラウンドにより差が異なる場合がある。

注2: 「その他」の内訳は、加工用米、飼料用米及びWCS以外の新規需要米、備蓄米、飼料作物、そば、なたね

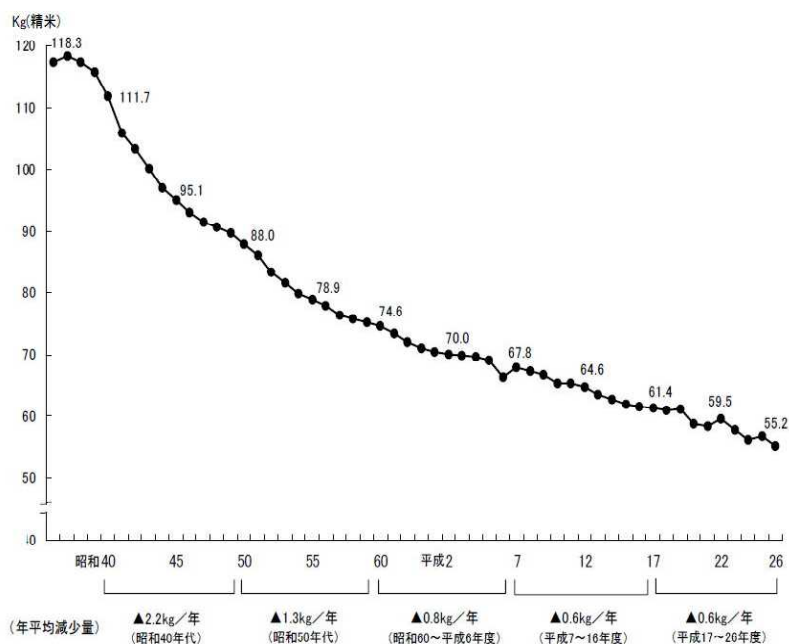
近年の米の超過作付の動向



米の消費に関する動向

- 米の1人当たりの年間消費量は、昭和37年度をピークに一貫して減少傾向にある。
具体的には、昭和37年度には118kgの米を消費していたが、平成26年度には、その半分程度の55kgにまで減少している。
- 米の全国ベースでの需要量は毎年約8万トンずつの減少傾向にある。

米の年間1人当たり消費量の推移



主食用米等の需給見通し（平成27年7月～平成29年6月）

- 米の需給見通しについて、28年6月末の民間在庫量を207万トンと見通している。
- 28年産の生産が、743万トン（28年産生産数量目標）となると、29年6月末の民間在庫量は188万トンとなり、735万トン（28年産自主的取組参考値）となると、29年6月末の民間在庫量は180万トンとなる。

【平成27年7月～平成28年6月の主食用米等の需給見通し】

平成27年6月末民間在庫量（実績）	226万トン
平成27年産主食用米等生産量（実績）	744万トン
平成27/28年主食用米等需要量（見通し）	763万トン※
平成28年6月末民間在庫量（見通し）	207万トン

※ 平成27/28年については、相対取引価格が上昇傾向にあることから、需要量に及ぼす影響を踏まえ、トレンドにより算出した771万トンから8万トン低い763万トンと見通す。

【平成28年7月～平成29年6月の主食用米等の需給見通し】

（単位：万トン）			
平成28年6月末民間在庫量	A	207	207
平成28年産主食用米等生産量	B	743 （生産数量目標）	735 （自主的取組参考値）
平成28/29年主食用米等供給量計	C=A+B	950	942
平成28/29年主食用米等需要量	D	762	762
平成29年6月末民間在庫量	E=C-D	188	180

注：平成28/29年主食用米等需要量については、現時点で価格の状況を見通すことが困難であるため、価格の変動が生じた場合の需要量への影響は見込んでいない。

【民間在庫量と相対取引価格の推移】



※1 民間在庫量は当年6月末現在の数値である。
 ※2 相対取引価格は、運賃、包装代、消費税を含む1等米の価格であり、当該年度の出回りから翌年10月（27年産は翌年2月）までの平均価格である。

需要に応じた生産推進重点キャラバン

- 28年産においても、需要に応じた生産に向けて、都道府県や団体、JAを対象として、生産者団体と連携しながらキャラバンを実施。
- 3月までに、延べ33道県を対象に実施。

1 キャラバン第1弾（27年12月）

27年産の主食用作付面積が生産数量目標を大幅に上回った過剰県に対し実施。

高知、長野、愛知、茨城、千葉、新潟、埼玉 7県

2 キャラバン第2弾（28年1～3月）

- ① 飼料用米から主食用米に戻るおそれがある県、
（主食用米価格が上昇していることから、一部の県において、このような動きあり）
- ② 飼料用米の取組が更に拡大できる畜産県、
- ③ 麦・大豆等の主産県
 に対して実施。

○ 今後の対応方針

- 28年産の需給バランスの確保に向けて、飼料用米の多収品種の推進等、戦略作物の本作化を進めるとともに、30年産以降、行政による生産数量目標に頼らない需要に応じた生産を実現するために、生産者や集荷業者が経営判断や販売戦略に基づき、主食用米に限らず、どのような作物をどれだけ生産・販売すればよいかを判断しようとする意識を着実に浸透させていくことが必要。

今後も引き続き、

- ・各県の県庁や団体、JAに対し、キャラバンを継続的に実施するとともに

- ・飼料用米等の取組状況を踏まえた重点的な推進・働きかけ

を行っていくこととする。

- ・併せて、表彰事業である「飼料用米多収日本一」を開催し、飼料用米の本作化に向け、生産農家の生産技術の向上を推進する。

○ 28年産飼料用米の推進

食料・農業・農村基本計画（平成27年3月31日閣議決定）における位置づけ

■ 飼料用米等の生産拡大を位置づけ（平成37年の飼料用米の生産努力目標110万トン）。

■ 飼料用米などの戦略作物については、生産努力目標の確実な達成に向けて、水田活用の直接支払交付金など必要な支援を行う旨を明記。

【食料・農業・農村基本計画】

- ・ 食料・農業・農村基本法（平成11年7月制定）に基づき策定
- ・ 今後10年程度先までの施策の方向性等を示す、農政の中長期的なビジョン

新規需要米の生産量の推移

- ・ 平成20年産から飼料用米など新規需要米に対する助成が開始されたが、それ以降、新規需要米の生産量は増加傾向にある。
- ・ 平成27年産の新規需要米は、前年に比べ、5万4千ha増の12万5千haとなっている。特に飼料用米については、東北地域や関東地域を中心に全国的に作付けが拡大し、4万6千ha増の8万haとなったところ。

新規需要米等の用途別認定状況の推移（平成20年産～平成27年産）

用途区分	平成20年産		平成21年産		平成22年産		平成23年産		平成24年産		平成25年産		平成26年産		平成27年産	
	計画生産量 (千トン)	作付面積 (ha)	計画生産量 (千トン)	作付面積 (ha)	計画生産量 (千トン)	作付面積 (ha)	計画生産量 (千トン)	作付面積 (ha)	計画生産量 (千トン)	作付面積 (ha)	計画生産量 (千トン)	作付面積 (ha)	計画生産量 (千トン)	作付面積 (ha)	計画生産量 (千トン)	作付面積 (ha)
米 粉 用 米	0.6	108	13.0	2,401	27.8	4,957	40.3	7,324	34.5	6,437	21.1	3,965	18.2	3,401	22.9	4,245
飼 料 用 米	8.0	1,410	23.3	4,123	81.2	14,883	183.0	33,955	183.4	34,525	115.4	21,802	178.5	33,881	421.1	79,766
WCS用米 (稲発酵飼料用米)	—	9,089	—	10,203	—	15,939	—	23,086	—	25,672	—	26,600	—	30,929	—	38,226
バイオエタノール用米	2.4	303	2.3	295	2.9	397	3.0	415	2.8	450	2.6	414	2.4	384	—	—
輸 出 用 米	0.4	74	0.9	164	2.2	388	1.6	287	2.5	454	2.8	507	6.1	1,092	8.5	1,547
酒 造 用 米	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.4	859	7.1	1,387
そ の 他 (わら専用稲、青刈り用稲等)	1.0	1,330	1.1	956	0.7	508	0.9	501	0.9	553	0.7	457	1.1	527	0.0	283
合 計	12.4	12,314	40.7	18,142	114.9	37,072	228.8	65,569	224.1	68,091	142.5	53,744	210.5	71,073	459.6	125,454

注1:WCS用米、わら専用、青刈り用稲については子実を採らない用途であるため計画生産量はなし。

注2:平成27年産は、平成27年9月15日現在の値。

注3:「酒造用」は、「需要に応じた米生産の推進に関する要領」に基づき生産数量目標の枠外で生産された玄米を指す。

注4:なお、ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

(参考)

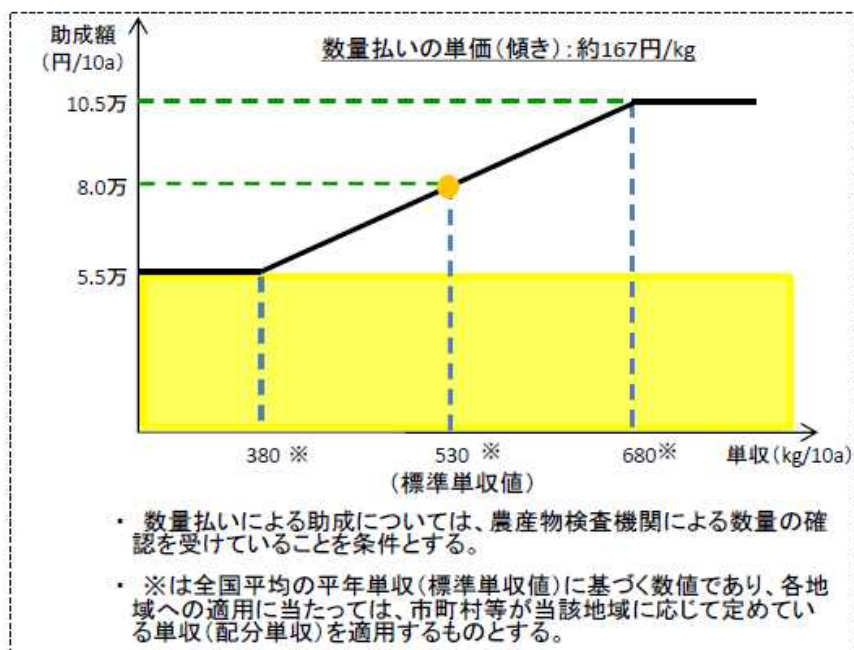
加 工 用 米	149.0	27,332	141.2	26,126	212.8	39,327	154.6	28,137	180.9	33,092	209.5	38,039	268.3	48,743	256.5	46,761
---------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------

※加工用米の数量については、平成20～26年産は実績値。平成27年産は平成27年9月15日現在の値。

水田活用の直接支払交付金による平成28年度の飼料用米生産への助成について

◆ 数量払いの導入

- 単収向上の取組へのインセンティブとして、生産数量に応じて交付金を支払う数量払いを導入。



《戦略作物助成》

対象作物	交付単価
麦、大豆、飼料作物	35,000円/10a
WCS用稲	80,000円/10a
加工用米	20,000円/10a
飼料用米、米粉用米	収量に応じ、 55,000円～105,000円/10a

◆ 二毛作助成

- 水田における主食用米と戦略作物助成の対象作物、又は戦略作物助成の対象作物同士の組み合わせによる二毛作を行う場合、15,000円/10aを交付。

飼料用米との二毛作のパターン(例)	交付単価
飼料用米+麦	5.5～10.5万円 + 1.5万円
飼料用米+飼料作物	5.5～10.5万円 + 1.5万円

◆ 耕畜連携助成

- 飼料用米を畜産農家へ供給するとともに、稲わらを畜産農家へ供給することにより、13,000円/10aを交付。

◆ 産地交付金の追加配分等

- 多収品種の取組に対し、12,000円/10aの産地交付金を地域に追加配分。
- 国から配分する資金枠の範囲内で、都道府県、地域農業再生協議会が飼料用米の生産性向上等の取組に対し、助成単価を設定し、交付額を上乗せすることが可能。

飼料用米生産コスト低減の取組

- ・ 飼料用米については、『日本再興戦略』改訂2015（平成27年6月30日閣議決定）において、多収品種の開発や、コストの削減、担い手への農地集積・集約化等を加速させ、10年後にコスト削減や単収増により生産性を2倍に向上（担い手の60kg当たりの生産コストを5割低減）させるとの目標を設定するなど、その本作化に向けた取組を進めているところ。
- ・ 農林水産省では、この目標の確実な達成に向け省内関係部局が一体となって現場における生産コスト低減に向けた取組を一層推進するため、「飼料用米生産コスト低減推進チーム」を設置し、「飼料用米生産コスト低減マニュアル」を公表（平成27年12月17日）。また、より現場に寄り添ったものとするため、現場での失敗事例とその対応を整理し、本マニュアルの掲載ホームページに追加掲載。



 <http://www.maff.go.jp/j/seisan/kokumotu/siryousa.html>

飼料用米多収コンテストを開催

- ・飼料用米生産農家の生産にかかる技術水準の向上を推進するため、「飼料用米多収日本一」を開催し、生産技術の面から先進的で他の模範となる経営体を表彰し、その成果を広く紹介する。



飼料用米多収 コンテストを 開催します。

飼料用米生産農家の生産技術の向上を目指し、多収を実現している先進的で他の模範となる経営体を表彰し、その成果を広く紹介する
「飼料用米多収日本一」を開催します。

■ 参加できる方

平成28年産の飼料用米の生産を

- ・多収品種（知事特認含む）で取り組む方
- ・生産面積がおおむね1ha以上で取り組む方
- ・生産コスト低減等に取り組む方

■ 開催スケジュール

・5月 2日	応募開始
・6月30日	応募締切
・1月末	確定収量の報告
・翌2月	審査
・翌3月	表彰式（東京都内）



■ 褒賞

成績優秀者には、以下の賞が授与されます。

・農林水産大臣賞	・政策統括官賞
・全国農業協同組合中央会会長賞	・全国農業協同組合連合会会長賞
・協同組合日本飼料工業会会長賞	・日本農業新聞賞

■ 応募先及びお問い合わせ窓口

各ブロック事務局へ御相談下さい。
(次ページをご覧ください。)

【主催】（一社）日本飼料用米振興協会、農林水産省
【後援】JA全中、JA全農、協同組合日本飼料工業会

トピックス

農林水産省HPの「逆引き事典」をリニューアル！

農林漁業者の方が事業を始めようとする際などに参考としていただく、補助金等の「逆引き事典」がリニューアルされました。使い勝手が良くなりましたので、ぜひ御活用ください。

農林水産省トップページの右側にあるバナーをクリックすると、画面が表示されます。



※使い方は「逆引き事典」画面左下  [逆引き事典の使い方はこちら](#) にあります。

「逆引き事典」の使い方

「逆引き事典」を刷新し、補助金のみであった検索対象に融資、出資、税制、優良事例を追加するとともに、検索機能の強化、比較画面の設置など拡充・改善を行いました。

<https://www.gyakubiki.maff.go.jp/>



0 まず始めに、
補助金・融資・出資・税制・優良事例の中から、
お探しの分野を一つお選びください。



※「逆引き事典の使い方」のトップ画面です。

平成27年漁業・養殖業生産統計（静岡県の概要）

農林水産省では、平成27年の我が国の海面及び内水面漁業の生産に関する実態を把握した調査結果（第1報）を平成28年4月26日にホームページにて公表いたしました。

今回の季刊誌では、この公表値を使用してまとめた静岡県の概要を御紹介します。

なお、詳細については、以下アドレス※からご覧いただけます。

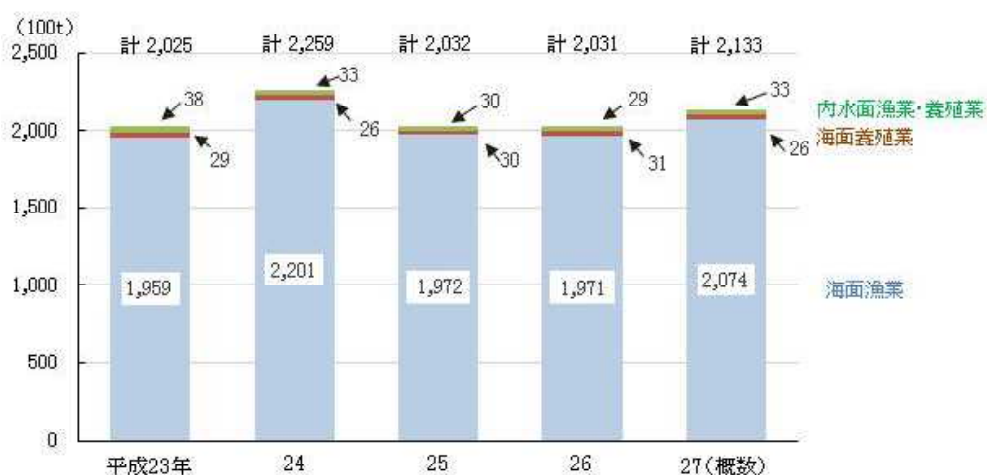
今後は、順次、確定値や市町村別統計が公表されますので、御活用ください。

※http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kaimen_gyosei/index.html#y

1 漁業・養殖業生産量の推移

平成27年における静岡県の漁業及び養殖業の生産量は21万3,300 tで、前年に比べて1万200 t（5.0%）増加しました。なお、平成27年は、この5年間では平成24年に次いで多い生産量となっています。

図1 漁業・養殖業の生産量の推移（静岡県）



※ラウンドにより内訳合計と計が合わない場合があります。

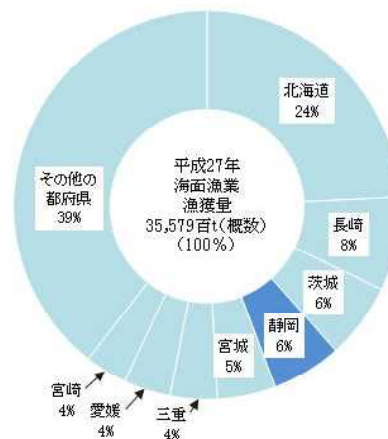
2 海面漁業

(1) 海面漁業漁獲量の都道府県別割合

平成27年における海面漁業漁獲量の都道府県別の割合をみると、静岡県の全国に占める割合は6%で全国第4位となりました。

上位を占めている都道府県は、北海道が24%、長崎県が8%、茨城県並びに静岡県が6%、宮城県が5%などとなっています。

図2 海面漁業漁獲量の都道府県別割合

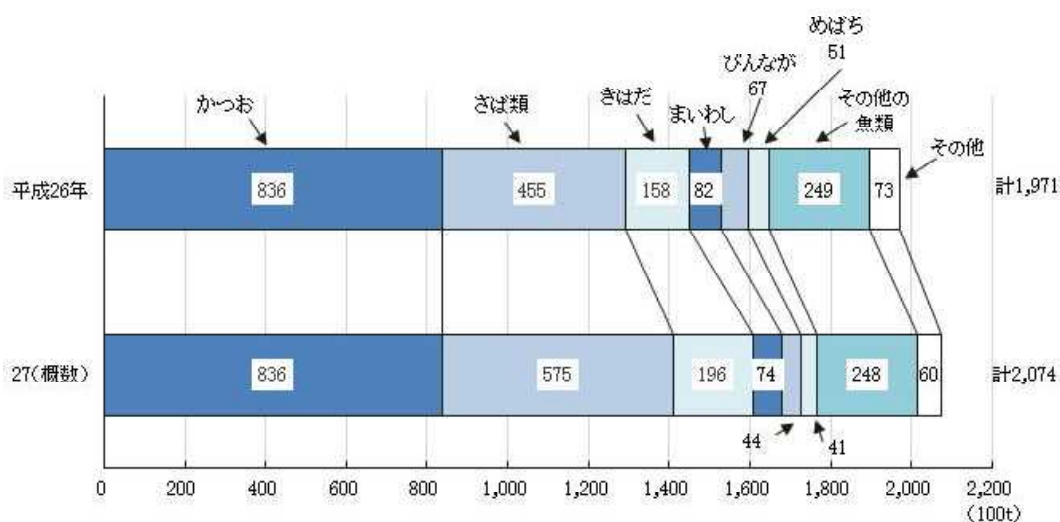


(2) 海面漁業魚種別漁獲量の動向

平成27年における静岡県の海面漁業漁獲量は20万7,400 t で、前年に比べて1万300 t (5.2%) 増加しました。

これを魚種別にみると、「かつお」は前年並み、「まいわし」、「びんなが」、「めばち」は前年に比べてそれぞれ減少したものの、「さば類」が5万7,500 t、「きはだ」が1万9,600 t で、それぞれ1万2,000 t (26.4%)、3,800 t (24.1%) 増加しました。

図3 海面漁業魚種別漁獲量の動向（静岡県）

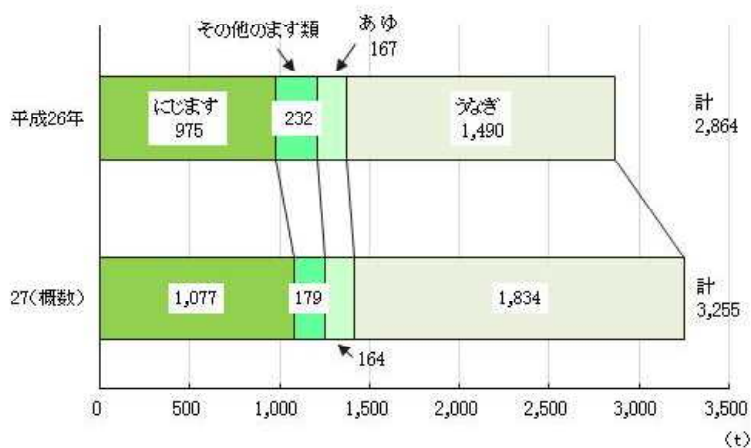


3 内水面養殖業収穫量の動向

平成27年における静岡県の内水面養殖業の収穫量は3,255 t で、前年に比べて391 t (13.7%) 増加しました。

これを魚種別にみると、「その他のます類」、「あゆ」は前年に比べてそれぞれ減少したものの、「にじます」、「うなぎ」がそれぞれ102 t (10.5%)、344 t (23.1%) 増加しています。

図4 内水面養殖業魚種別収穫量の動向（静岡県）



静岡県農業の統計指標

日頃は農林水産統計調査の実施に御協力をいただき誠にありがとうございます。

静岡県の農林水産業に係る主な統計数値を御紹介します。

(1) 総括

指 標		単位	静岡県	全 国	年次	資 料 名
概 況	総 世 帯 数	戸	1,530,499	56,412,140	平27年	総務省自治行政局「住民基本台帳に基づく人口及び世帯数」
	総 人 口	人	3,786,106	128,226,483	〃	〃
	総 土 地 面 積	Km ²	7,777	377,971	〃	国土地理院「全国都道府県市町村別面積調」
農 業	農 業 経 営 体	経営体	33,143	1,377,266	平27年	2015年農林業センサス（農業経営体）
	経営規模別					
	1.0ha未満	〃	22,125	741,363	〃	〃
	1.0 - 2.0ha	〃	6,392	333,369	〃	〃
	2.0 - 3.0ha	〃	2,126	115,983	〃	〃
	3.0ha以上	〃	2,500	186,551	〃	〃
	販 売 農 家	戸	31,864	1,329,591	平27年	2015年農林業センサス（販売農家）
	主副業別					
	主業農家	〃	8,334	293,928	〃	〃
	準主業農家	〃	6,274	257,041	〃	〃
	副業的農家	〃	17,256	778,622	〃	〃
	認 定 農 業 者	人	5,457	238,443	平27年	農林水産省HP〔平成27年3月末現在〕
	農 業 就 業 人 口	〃	57,322	2,096,662	平27年	2015年農林業センサス（販売農家）
	うち、65歳以上	〃	36,757	1,330,675	〃	〃
	基幹的農業従事者	〃	51,235	1,753,764	〃	〃
	うち、65歳以上	〃	33,769	1,132,072	〃	〃
	耕 地 面 積	100ha	679	44,960	平27年	耕地面積及び作付面積統計
	種類別					
	田	〃	227	24,460	〃	〃
	普通畑	〃	158	11,520	〃	〃
	樹園地	〃	282	2,914	〃	〃
林 業	農 業 産 出 額	億円	2,154	84,279	平26年	生産農業所得統計
	内訳					
	米	〃	173	14,370	〃	〃
	野 菜	〃	598	22,421	〃	〃
	果 実	〃	283	7,628	〃	〃
	畜 産	〃	502	29,912	〃	〃
	茶	〃	356	952	〃	〃
	米穀の届出事業者	業者	1,809	71,237	平27年	農林水産省HP〔平成27年3月末現在〕
	林 業 経 営 体 数	経営体	1,964	87,284	平27年	2015年農林業センサス（林業経営体）
	保 有 山 林 面 積	100ha	1,041	43,734	〃	〃
水 産 業	林 業 産 出 額	億円	95	4,478	平26年	生産林業所得統計
	漁 業 経 営 体	経営体	2,678	94,507	平25年	2013年漁業センサス（海面漁業）
	漁 業 就 業 者	人	5,750	180,985	〃	〃
	漁 業 生 産 額	億円	516	13,542	〃	漁業生産額（海面漁業・養殖業）
分 析 指 標	農 家 率	%	2.1	2.4	平27年	販売農家数／総世帯数
	経営規模別					
	1.0ha未満	〃	66.8	53.8	〃	1.0ha未満経営体数／農業経営体数
	1.0-2.0ha	〃	19.3	24.2	〃	1.0-2.0ha農業経営体数／農業経営体数
	2.0-3.0ha	〃	6.4	8.4	〃	2.0-3.0ha農業経営体数／農業経営体数
	3.0ha以上	〃	7.5	13.5	〃	3.0ha以上農業経営体数／農業経営体数
	販売農家主副業別					
	主業農家	〃	26.2	22.1	〃	主業農家数／販売農家数
	準主業農家	〃	19.7	19.3	〃	準主業農家数／販売農家数
	副業的農家	〃	54.2	58.6	〃	副業的農家数／販売農家数
化 高 率 率 率	農 業 就 業 人 口	〃	64.1	63.5	〃	65歳以上／農業就業人口
	基幹的農業従事者	〃	65.9	64.6	〃	65歳以上／基幹的農業従事者数

注：農業産出額の茶は、生葉と荒茶の合計値である。

(2) 主要品目別データ

指 標		単位	静岡県	全 国	全 国		年次	資 料 名		
					シェア(%)	順位				
水 稲 (子実用)		作 付 面 積	100ha	163	15,050	1	32	平27年	作物統計（普通作物）	
		収 穫 量	100 t	820	79,860	1	31	〃	〃	
野 菜	レ タ ス	収 穫 量	t	20,300	577,800	4	7	平26年	作物統計（野菜）	
	セ ル リ ー	〃	〃	7,190	34,000	21	2	〃	〃	
	ち ん げ ん さ い	〃	〃	7,820	44,800	17	2	〃	〃	
	い ち ご	〃	〃	11,100	164,000	7	4	〃	〃	
菜	さ と い も	〃	〃	4,770	165,700	3	10	〃	〃	
	わ さ び (水わさび根茎)	〃	〃	226	555	41	2	〃	特用林産基礎資料（林野庁）	
果 樹	み か ん	結 果 樹 面 積	ha	5,360	42,900	12	3	平26年	作物統計（果樹）	
		収 穫 量	t	124,900	874,700	14	3	〃	〃	
樹	キウイフルーツ	結 果 樹 面 積	ha	131	2,150	6	5	〃	〃	
		収 穫 量	t	1,830	31,600	6	5	〃	〃	
工 芸 農 作 物	茶	摘 採 実 面 積	ha	16,300	35,600	46	1	平27年	作物統計（茶） 1) 2)	
		生 葉 収 穫 量	t	144,400	357,800	40	1	〃	〃	
		荒 茶 生 産 量	〃	31,800	79,500	40	1	〃	〃	
花 き	切 り 花 類	き く 出 荷 量	千本	48,700	1,573,000	3	7	平26年	作物統計（花き）	
	鉢 物 類	ば ら	〃	23,800	276,500	9	2	〃	〃	
		ガ ー ベ ラ	〃	63,000	165,000	38	1	〃	〃	
		洋 ラ ン 類	〃	千鉢	828	15,900	5	6	〃	〃
		観 葉 植 物	〃	〃	3,760	42,900	9	3	〃	〃
畜 産	乳 用 牛	飼 養 頭 数	100頭	136	13,710	1	16	平27年	畜産統計	
	肉 用 牛	〃	〃	216	24,890	1	27	〃	〃	
		豚	〃	〃	1,191	95,370	1	22	平26年	〃
	採卵鶏(種鶏除く)	飼 養 羽 数	千羽	4,332	172,349	3	18	〃	〃	
水 産	漁 業・養 殖 業		総 生 産 量	100t	2,074	35,579	6	4	平27年	漁業・養殖業生産統計 2)
	魚 種 別	ま ぐ ろ 類	漁 獲 量	100t	294	1,815	16	1	〃	海面漁業 2)
		か つ お 類	〃	〃	839	2,631	32	1	〃	〃
		さ ば 類	〃	〃	575	5,798	10	3	〃	〃
		ま す 類 計	収 獲 量	t	1,257	7,700	16	2	〃	内水面養殖漁業 2)
		う な ぎ	〃	〃	1,834	19,913	9	4	〃	〃
水 産 加 工 品	塩 干 あ じ		生 産 量	t	12,797	33,472	38	1	平26年	水産加工統計調査
	し ら す 干 し		〃	〃	5,517	30,708	18	1	〃	〃
	か つ お 節		〃	〃	7,264	29,649	24	2	〃	〃
	さ ば 節		〃	〃	3,841	13,767	28	2	〃	〃
	ま ぐ ろ 類 缶 詰		〃	〃	25,323	25,338	100	1	平26年	ふじのくにHP

注 : 1) 茶の全国値のうち、摘採実面積及び生葉収穫量は主産県計である。

: 2) 平成27年は、概数値であり今後変更される場合がある。

*各種統計調査結果は、<http://www.maff.go.jp/j/tokei> からご覧いただけます。

*統計に関する御質問は、静岡支局統計チーム(054-246-0612)までお尋ね下さい。

関東農政局 静岡支局

〒420-8618 静岡市葵区東草深町7番18号

TEL 054-246-6121 FAX 054-246-6226

【地方参事官室】		054-246-6121
【経営所得安定対策チーム】		054-246-6121
【食料産業チーム】		054-246-6121
【統計チーム】	(経営・構造)	054-246-0612
	(生産流通)	054-246-6123
【消費・安全チーム】	(食品表示)	054-246-6959
	(米穀流通)	054-246-6125
	(農畜産安全)	054-246-6125

関東農政局静岡支局 案内図

